



1996年11月21日

フォルクスワーゲン ポロ 「'96-'97年次 RJCイヤー賞 インポートカー・オブ・ザ・イヤー」を受賞

本日 11月21日(木)午前9:00よりおこなわれたRJC(日本自動車研究者&ジャーナリスト会議)会員による最終開票の結果、フォルクスワーゲン ポロが「'96～'97年次 RJCイヤー賞 インポートカー・オブ・ザ・イヤー」を受賞いたしました。

今年度の「RJC インポートカー・オブ・ザ・イヤー」決定に際しましては、11月1日の会員による第一次投票の結果、ポロは輸入車部門で最も多くの票を獲得して最終選考に残りました。その後11月17日の最終選考試乗会/プレゼンテーション終了後 投票が行われ、本日11月21日(木)開票の結果、フォルクスワーゲン ポロが栄誉ある「'96～'97年次 RJCイヤー賞 インポートカー・オブ・ザ・イヤー」を受賞いたしました。

ポロは今年8月19日に フォルクスワーゲンのエントリーモデルとして発表・発売(2ドアMT車は10月末発売)されました。「小さいことに妥協しない」「小さいからこそ挑戦すべき」という思想のもとに開発されたポロは、小さいボディに最大限の室内空間を確保、またフォルクスワーゲンが掲げる高品質と厳しい安全基準をクリアしているばかりではなく、走行性能、操作性、快適性にも、フォルクスワーゲンの技術を結集させたモデルです。

フォルクスワーゲン ジャパンでは、「輸入車としての個性を保ちながらも、最も厳しい目を持った日本のお客様に最大の満足を提供したい」という考えに基づき 日本の道路事情、お客様にあった調整を行い 日本市場導入準備を進めてまいりました。車両本体価格も154万円～179万円(東京地区価格)に抑え、若い人々やこれまでの国産ユーザーにも輸入車を身近に感じていただけるような価格に設定いたしました。その結果、発表から10月末までの3ヶ月足らずの期間に、登録約3,700台、受注約7,000台を達成することが出来ました。

フォルクスワーゲン ジャパンでは、この度の受賞を、ポロのクルマ造りとお客様第一主義の販売努力に対するひとつの評価として、非常に光栄に感じています。これからも、フォルクスワーゲン車をより多くの方々にご評価いただけるよう、積極的な販売・マーケティング活動を行ってまいります。